

令和 2 年 5 月 28 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K02590

研究課題名(和文)「満洲国」の文芸政策とメディア統制機関に関する実証的研究

研究課題名(英文) An empirical study about literature policy and media control institutions in "Manzhouguo"

研究代表者

大久保 明男 (OKUBO, AKIO)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号：10341942

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究課題は科研費による助成期間が終了を迎えたが、研究自体はなお継続しており、現時点での成果は主に以下の三点に要約できる。第一に、日本の植民地支配下地域の文学・文化研究の全体において、立ち後れている「満洲」地域の研究状況を改善し、研究を促進させたこと。第二に、「満洲国」における文芸政策とメディア統制との関連性に着目した研究はほとんどおこなわれていなかった。この現状に対して本研究は新たな視点や啓示を提示したこと。第三に、本研究の進展に伴い、日本、中国、台湾、韓国を中心とするアジア四地域の研究組織が結成され、毎年国際シンポジウムが各地で開催されるなど、国際的な研究活動が推進されたことと言える。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究課題は科研費による助成期間が終了を迎えたが、研究自体はなお継続しており、現時点で考えられることは以下の三点に要約できる。第一に、日本の植民地支配下地域の文学・文化研究の全体において、立ち後れている「満洲」地域の研究状況を改善し、研究を促進させたこと。第二に、「満洲国」における文芸政策とメディア統制との関連性に着目した研究はほとんどおこなわれていなかった。この現状に対して本研究は新たな視点や啓示を提示したこと。第三に、本研究の進展に伴い、日本、中国、台湾、韓国を中心とするアジア四地域の研究組織が結成され、毎年国際シンポジウムが各地で開催されるなど、国際的な研究活動が推進されたことと言える。

研究成果の概要(英文)：Although this research has ended the funding period from KAKENHI, the research itself is still ongoing. The current achievements can be summarized in the following three points.

First, in the entire literature and cultural studies of the colonial-controlled areas of Japan, the research situation in the lagging "Manchu" area was improved and the research was promoted. Second, few studies have focused on the relationship between literary policy and media control in "Manchuria." This research presented new perspectives and revelations for this situation. Thirdly, with the progress of this research, we have established research institutes in four regions of Asia centered on Japan, China, Taiwan and South Korea, and hold international symposiums every year to promote international research activities.

研究分野：中国近現代文学

キーワード：満洲国 中国東北 文芸政策 メディア統制 植民地文学 検閲 国際情報交換 国際研究者交流

1. 研究開始当初の背景

「満洲国」における文芸政策およびメディア統制に関する研究は、一部の先行研究はあるが、総体的にいまだにあきらかになっていない。

文芸政策に関しては、1941年3月に発布された「芸文指導要綱」が広く知られているが、前段階の諸政策や関連機関についてその全体像や相互的な関連性が必ずしも明確にされていない。たとえば、1933年2月、「満洲国」政府が広報機能を管理強化するために設置した情報処は、1941年になると情報・宣伝・メディアを統括する統制機関＝弘報処に大きく変貌し、文学、美術、音楽、演劇、映画、唱片(レコード)、新聞、雑誌、図書などの諸領域・諸媒体を一元的管理下に納めるようになるが、その間の経緯や変遷過程がなおも詳細に考察・検証されていない。「満洲国」における文芸政策およびそれに関連するメディア統制機関は、「満洲国」の文学・芸術を研究するにあたり、避けて通れない重要な課題である。

2. 研究の目的

本研究は、「満洲国」における文芸政策およびそのもとで設置されたメディア統制機関を研究対象とし、政府が制定・実施した、文化・芸術の諸分野に関連した様々な政策や制度、およびそれらを実行・運用する際に中心的な役割をはたしたメディア統制機関に関して、その実態や基礎的な事実について総体的に把握することに努め、さらに両者の関連性について実証的な研究手法を用いて解明することを目指す。全体構想としては、本テーマに関連する政策、方針、法律、組織、団体、諸活動などの基礎的な事実や実態、および相互の関連性について、先行研究や文献調査などにより体系的に整理・分析し、総合的に考察・究明しようとするものである。

3. 研究の方法

1. 資料の調査収集作業：本課題に関わる一次資料(当時発行の新聞、雑誌、書籍や公布された法律、条例など)や先行研究文献を中国現地の図書館や公文書館などに赴き、調査収集をおこなった。

2. 資料の整理や分析・考察：上の作業と同時進行で、資料の読み込みや整理をしながら本研究課題に関連する重要事項を析出し、考察・論考をおこなった。

3. 研究成果のまとめや公開：後掲研究実績リストにあるとおり、本研究に関わる一部の研究成果はすでに学術図書や論文、国際シンポジウムなどにおける口頭発表などの形で一般公開した。

本研究は2018年度で終了する予定だったが、関わる一次資料の調査収集に想定以上の時間がかかってしまったことなどにより一年間延長した。2019年度は引きつづき資料の調査収集をおこなうとともに、文献資料の整理や解析を進めながら、本研究課題に関わる論考の執筆準備に取りかかった。

4. 研究成果

本研究課題は科研費による助成期間が終了を迎えたが、研究自体はなお継続しており、現時点での成果は主に以下の三点に要約できるかと思われる。

第一に、日本の植民地支配下地域の文学・文化研究の全体において、立ち後れている「満洲」地域の研究状況を改善し、研究を促進させるための前提となる基礎的な史料や先行研究の構築に貢献できたこと。

第二に、これまでの研究では個別の作家論や作品論に限るものは多いが、文学・芸術諸分野をめぐる環境を俯瞰的にとらえ、文芸政策とメディア統制との関連性に着目した研究はほとんどおこなわれていなかった。研究現状に対して本研究は新たな視点や啓示を提示したと思われる。

第三に、本研究課題の代表者(報告者)は長年にわたり、日中両国の横断的な研究視野や研究活動を重視し、これまでの研究活動において両国研究者の学術交流を積極的に推進してきた。本研究課題の実施期間中にも毎年度の実施状況報告書にあるように、日本、中国、台湾、韓国を中心とするアジア四地域の研究組織が結成され、毎年国際シンポジウムが各地で開催されてきた。これら研究活動の一部の成果とも言えるが、2017年に「満洲国」の文学に関する大規

模な研究著作集（34冊なる叢書）が中国で刊行されるなど、研究活動の広がりや深化が確実に進んでおり、それに伴う成果も結実しつつあると言える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 大久保明男	4. 巻 第4巻
2. 論文標題 解説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西原和海[監修]:復刻版『満洲開拓文学選集』	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保明男	4. 巻 第17巻
2. 論文標題 解説	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西原和海[監修]:復刻版『満洲開拓文学選集』	6. 最初と最後の頁 1-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大久保明男	4. 巻 第4巻
2. 論文標題 解題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 西原和海[監修]:復刻版『満洲開拓叢書』	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 3件／うち国際学会 4件）

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 操控偽満文芸界的文化官僚武藤富男初探
3. 学会等名 “伝播視域下的東亜植民主義研究” 国際学術研討会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 中國東北文化研究中的空缺和斷裂、誤區與禁區
3. 学会等名 東北文学与文化國際研討会（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 戦後日本の「満洲」叙述及其在文学上の表露（中国語）
3. 学会等名 華東師範大学人文社会科学「百場校級學術講座」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 中国語新聞や文芸雑誌より見る満洲の言語風景
3. 学会等名 公開研究会 第8回「アジア・太平洋の日本語と日本語教育を考える会」 旧満洲国の言語と文化
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 近年日本の「満洲国文学」研究について
3. 学会等名 國際學術ワークショップ：殖民、創傷、記憶 東アジア植民主義再考（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大久保明男
2. 発表標題 「満洲国語」とは何か 雑誌『満洲国語』の創刊とその言説を考察する
3. 学会等名 東アジア植民主義と文学 国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計12件

1. 著者名 木之内誠、平石淑子、大久保明男、橋本雄一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 208
3. 書名 大連・旅順 歴史ガイドマップ	

1. 著者名 Annika A. Culver, Norman Smith, Karen L. Thornber and others	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Hong Kong University Press	5. 総ページ数 328
3. 書名 Manchukuo Perspectives: Transnational Approaches to Literary Production	

1. 著者名 柳書琴（主編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 台湾・聯經	5. 総ページ数 490
3. 書名 東亜文学場 台湾、朝鮮、満洲の植民主義與文化交渉	

1. 著者名 岡田 英樹、大久保 明男	4. 発行年 2016年
2. 出版社 金沢文圃閣	5. 総ページ数 2000
3. 書名 「満洲國語」：「満洲国」の言語編制（全6巻）	

1. 著者名 大久保明男	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 195
3. 書名 偽満洲国の漢語作家和漢語文学	

1. 著者名 大久保明男	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 525
3. 書名 偽満洲国主要漢語報紙文芸副刊目録	

1. 著者名 大久保明男、岡田英樹、代珂	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 240
3. 書名 偽満洲国文学研究在日本	

1. 著者名 大久保明男、岡田英樹、西原和海、代珂、牛耕耘	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 237
3. 書名 偽満洲国日本作家作品集	

1. 著者名 劉曉麗、大久保明男	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 676
3. 書名 偽満洲国の文学雑誌	

1. 著者名 劉曉麗、大久保明男、岡田英樹、諾曼・史密斯（Norman Smith）、金昌鎬、李海英、王亜民	4. 発行年 2017年
2. 出版社 北方文芸出版社（中国・ハルビン）	5. 総ページ数 437
3. 書名 偽満洲国文学研究資料彙編	

1. 著者名 劉曉麗 叶祝弟 編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 上海三聯書店	5. 総ページ数 598
3. 書名 創傷-東亜殖民主義与文学	

〔産業財産権〕

〔その他〕

大久保明男の研究室
<http://dajubao.html.xdomain.jp/>
首都大学東京 教員紹介
<https://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/a/1450.html>
researchmap
<https://researchmap.jp/dajubao-mingnan/>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----